

ものづくり最前線!!!

2017年1月号

【今月のこあいさつ】

弊社も今期、無事44期目を迎えることが出来ました。これもひとえに、取り引き先皆様のご支援とご指導の賜物と、深く感謝しております。

今年、さらなる飛躍を遂げるために、平成29年1月14日(土)に、第44期経営指針発表会を開催させていただきました。その中で長期ビジョンを基に、5カ年ロードマップと単年度計画を、社員のみんなが一丸となって作り上げました。5年後の将来像から自分たちがどのような人材に成長するのか?その為には何が必要で、今年何を成し遂げなければならないかを考え、導き出した計画です。後はその計画を基に、日々の活動に邁進するのみです。4月からの新入社員も、懇親会からの参加で、とても有意義な経営指針発表会となりました。

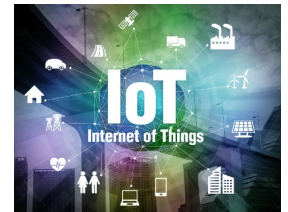


〈弊社44期経営指針発表会〉

【ものづくりトピックス】

IOT (Internet Of Things)

IOTは「モノのインターネット」と訳される。家電製品などあらゆるものにセンサーが付けられ、インターネットに繋がる。利用履歴などのデータがサーバーに蓄積され集まったビッグデータをAI(人工知能)が解析し、モノにフィードバック。その入口がiPhoneのSiriだ。当面は製造業を中心に牽引するとみられるが、2020年の東京オリンピックを機に公共インフラ、ビル、家電、電力関連のIOTビジネスが伸びると予測するアナリストもいる。IOT関連の市場規模は国内だけで2020年に13.8兆円になると試算される。13兆円市場はネット通販市場に匹敵。あらゆるモノにセンサーが付く。ソフトバンクはそのセンサーのチップを作るイギリスのアームホールディングスを3.3兆円で購入。今、世界一のIOT関連企業といえばソフトバンクになるかもしれない。2020年には世界で300億個のモノがネットにつながると予測される。



【会社案内】

有限会社パール金属

所在地:名古屋市中区大須 4-15-34

電話:052-251-0753 / FAX:052-241-1620

事業内容: 機械工具・工作機械・工場用設備用品、
産業機器などの卸販売

分電盤・配電盤用のオリジナル鋳金部品の販売、
環境設備商品の卸販売

企業理念: 「豊かさの創造」

1. 顧客・取引先・関わるすべての人々に、豊かさ
と安心をもたらせる、輝く企業を目指します。
2. 共に働く人々が、誇りや、やりがいを持ち続け、
心豊かになれる企業を目指します。

お問合せ: info@pro-kogu.com

社長木村 090-2928-3231 (お客様相談窓口: 堀口)



【上前津ウォーカー】

♪輪久♪

今回ご紹介するお店は、会社のみんでランチに入った
こだわりが沢山あるお店です☆ 上前津駅1番出口から
徒歩3分、弊社のすぐ近くにある『輪久』です。

輪久は日本酒、料理、器とこだわりが沢山詰まったお店
です。店内の雰囲気もすてきでした。

私たちが頂いたランチは3段重で、1段目はお野菜をたく
さん使った8種類の小鉢、2段目はお魚の蒸し物、3段目
はお造りの盛り合わせでした。他にも茶わん蒸し、お味
噌汁、ご飯が2種類とデザートが付いてきます。

ご飯はおかわり自由
なので一杯ずつ楽しむ
のもいいかもしれませ
ん。ランチメニューは
2,000円です。



[住所]名古屋市中区大須 4-6-15 2F

営業時間: 11:00-14:00 / 17:00-22:00

【今月の売れ筋商品】

中部機械加工システム展

今回は、『2017 中部機械加工システム展』のご案内です！

年に1回、ポートメッセ名古屋で行われる展示会です。

今年は**3月17日(金)18日(土)**の2日間、開催されます。

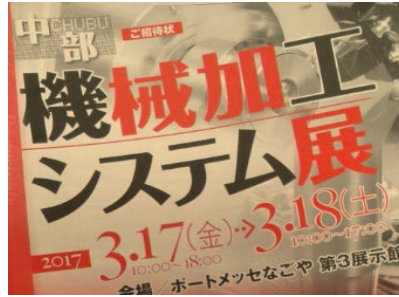
この展示会の面白いところは、

『提案型の展示会』である事です！最新の工作機械をメインに、切削工具を中心とした、ツーリング、治具、省力化機器などの機械加工周辺機器等の展示を通して、ユーザー様へ「生産性向上によるコストダウン」「高精度加工」をご提案させていただきます。

悩みのつきないバリ取り・面取り加工にお困りのお客様の為の、**バリ取りコーナー**や、機械保全について故障の予防対策の為の、

機械保全コーナーも設けています。また、**ロボットシステムコーナー**もありますよ♪

セミナーも多数開催しています。とても人気ですすぐに定員オーバーになってしまうので、早めにご予約される事をお勧めします！その他、各メーカーにて当日限定のキャンペーンや特典もございます♪弊社社員も、常在していますので、この機会にぜひ、お越しください！



【今月のビジネスコラム】

「私がロバート・デ・ニーロを好きなワケ」



(有)がんばれ社長：武沢信行氏

〈ロバート・デ・ニーロ〉

この世は舞台であり人生は芝居である、と言ったのはかのシェイクスピア。芥川龍之介は「政治家イコール俳優」説を述べているが、人はみな役者という意見に私も賛成する。私たちは誰かを演じているのだ。私が知る限り最も役作りに情熱を注いでいる俳優の一人がロバート・デ・ニーロだ。マフィアの大ボスを演じる際には、額の生え際の毛をすべて毛抜きで抜いたらしい。ストーカー殺人の役では、主役の凶悪犯を演じる為に5千ドルかけて歯を矯正。撮影後、2万ドルをかけて元に戻したという。実在のプロボクサー、ジェイク・ラモッタを演じた際は、チャンピオンの座を手にしたあと転落していく半生を描く為、体を引き締め、その後ブクブクに太った。その体重差は20～30キロ。普通の体型だった体重を落として現役ボクサーを演じ、その後は晩年のラモッタを演じるために別人のように太ったのだ。こんな話は聞いたことがない。ビジネスにおいても私たちはもっと役作りに懸命になってよいのではないだろうか。それでお金をもらっているプロなのだから。

【歴史に学ぶ生き様】

片岡 球子(1905～2008)



明治から平成を生きた女流画家である。小学校教諭をしながら画家を続けた。画家になってからも「あ、下手でしょ」と言い続けたように、自分の絵を下手だと思っていた。日展などに応募しつづけるも〈片岡 球子〉落選を続け、あだ名が『落選の神様』。34才で入選し認められ、以後入選の常連になる。37才にようやく認められ『祈祷の僧』で横山大観賞を受賞。得意満面の笑顔で受賞式典に臨んだ球子。会場で横山大観から声をかけられた。大観は取り皿を手に取り、箸でチーンと鳴らしこう言った。「この音が描けるようになるまで一生勉強だよ」球子の笑顔が一瞬で消え「一生勉強」「一生挑戦」がモットーになった。「美しく描くことが全てではない」と信じ、信念に従った創作を続けた。50歳に教員を退職し、本格的に画家として始動した。球子のパワーは晩年もすこぶる健在で、78歳にして新たな「ポーズ」という裸婦シリーズに挑み100歳まで取り組んだ。あの世でも「私下手でしょう」と言いながら、皿の音が描けるようにと毎日特訓していることだろう。

【社員の声】

門奈美和(2012年入社)

入社5年目となる今期の、経営指針発表会を平成29年1月14日に開催いたしました。

今回、経営指針書の中で、ロードマップと年間計画の部分、私たち社員が主となり、1年近くの時間を掛けて作成しました。発表では上手く伝えられるか心配でしたが、来て頂いた皆様からは、お褒めの言葉を頂き、とてもうれしかったです。発表後のグループ討論では、皆様からの意見やアドバイスを頂いたり、普段では聞けないお話を聞いたり、とても勉強になりました。発表会後の懇親会では皆さん、お酒も入って、会社の話や普段の生活の話まで、かなりフランクにお話して下さり、とても楽しい時間となりました。後は、実践あるのみです！！



お問い合わせは、門奈美和：monna@pro-kogu.com